

(株)三越伊勢丹ホールディングス(国内百貨店事業)売上速報(2020年 6月)



三越伊勢丹ホールディングス

2020年7月1日

国内百貨店事業 売上

(株)三越伊勢丹 店舗	前年比	4月-6月 累計
伊勢丹新宿本店 店頭	78.1%	35.9%
三越日本橋本店 店頭	82.9%	40.9%
三越銀座店	54.7%	21.7%
伊勢丹立川店	91.5%	41.8%
伊勢丹浦和店	92.4%	41.7%

	前年比	4月-6月 累計
(株)三越伊勢丹 計 (①)	73.3%	33.4%
(株)三越伊勢丹 既存店計※ (②)	77.5%	35.4%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績除く

グループ百貨店事業会社	前年比	4月-6月 累計
札幌丸井三越	76.4%	41.1%
函館丸井今井	91.2%	58.9%
仙台三越	87.7%	58.8%
新潟三越伊勢丹	80.8%	52.2%
静岡伊勢丹	82.6%	57.2%
名古屋三越	89.3%	58.0%
広島三越	88.2%	57.8%
高松三越	85.6%	52.7%
松山三越	66.6%	45.1%
岩田屋三越	84.2%	49.7%

	前年比	4月-6月 累計
国内グループ百貨店 計 (③)	83.4%	51.6%
国内グループ百貨店 既存店計※ (④)	86.1%	53.3%

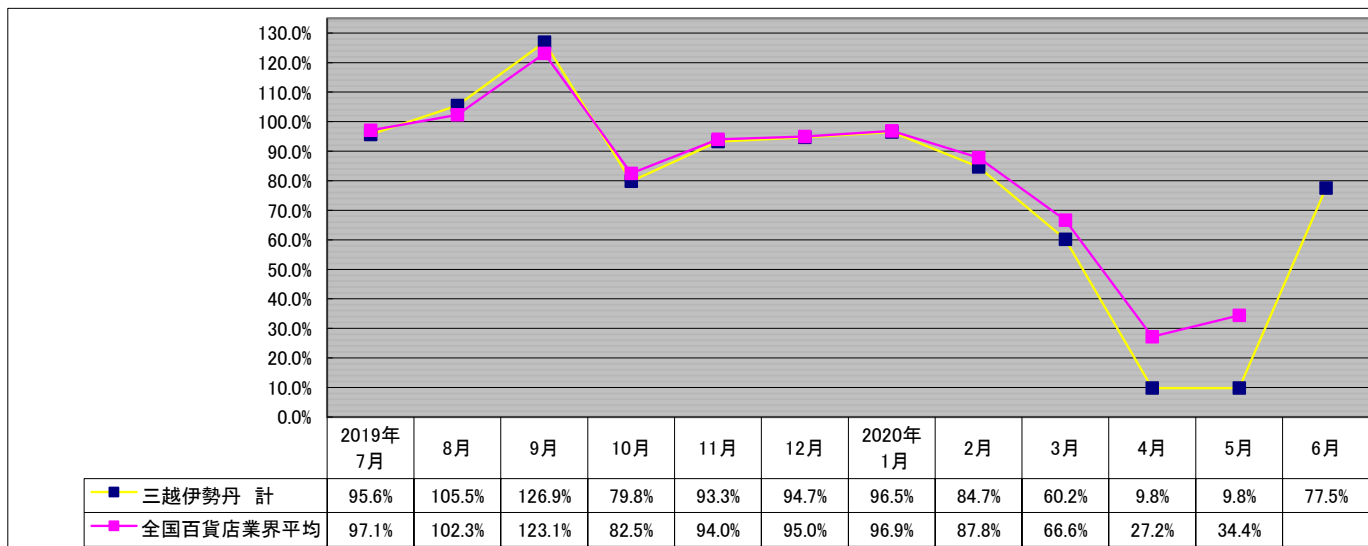
※2020年3月22日営業終了した新潟三越の実績除く

	前年比	4月-6月 累計
国内百貨店 計 (①+③)	77.2%	40.7%
国内百貨店 既存店計※ (②+④)	81.0%	42.7%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績と
2020年3月22日営業終了した新潟三越の実績除く

過去1年間の月別売上高(前年比)推移 [三越伊勢丹・全国百貨店業界平均]

数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店計の実績です。



概況

- コロナ禍で不要不急の外出を控える状況が続いたことでほぼ全店で客数が減少し、国内百貨店合計の売上は前年を下回る。一方で、買い物の目的が明確なお客さまや購買意欲が高いお客さまが多く、多くの店舗において客単価は前年実績を上回り、売上は5月よりも大幅に改善する。特に食品・リビング用品・子供用品など、日常生活をより豊かに過ごしたいニーズに応えるカテゴリーが健闘する。
- 東京都心の店舗では、月初は生活必需品へのニーズが中心だったが、徐々にラグジュアリーブランドや宝飾品など、高額品の比較検討が可能な百貨店ならではのニーズも上向いてくる。また、混雑を避ける目的で分散化して開催したクリアランスセールも月の終盤まで堅調に推移するとともに、6月9日に刷新し利便性が向上した三越伊勢丹オンラインの売上は月を通して好調であった。
- 首都圏・札幌・名古屋・福岡など元々免税売上シェアが高い地域においては、免税売上の大幅マイナスが売上減の大きな要因となった。